

# テーマ：高齢者の生きがい・やりがいにつなげるコンテンツづくり等

## 目指す姿

県では、笑いあふれる100歳時代を目指して、健康寿命を延ばすため「未病を改善する」取組を進めており、その構成要素の一つである社会参加の機会を増やしたいと考える。

そのために、県としては、生きがい・やりがいにつながるようなコンテンツを県内に広げることで、より多くの高齢者の社会参加につなげていきたい。



## 「すべての高齢者が生きがい・やりがいを持って生き生きと暮らせる社会」

## 現 状

- ・孤独感を覚える人：60代37.9%、70代31.2%、80代34.3%
- ・社会活動への参加を特にしていない人：60代49.1%、70代47.2%、80代58.8%  
(内閣官房「人々のつながりに関する基礎調査（令和4年）」)
- コロナを経て、つながりが希薄に
  - ➡ **孤独感を覚えている・社会活動に参加していない高齢者とのつながりを作れないか？**

こうした現状を「すべての高齢者が生きがい・やりがいを持って生き生きと暮らせる社会」に近づけるために、

デジタル技術※を用いた、**コンテンツ・サービス・仕掛け**とは？

※スマートフォンやタブレットの利用状況

「よく利用している」又は「ときどき利用している」 60～69歳は73.4% 70歳以上は40.8%

総務省「情報通信白書」（令和3年）

## 【留意事項】

- アイデアの評価にあたって、次の視点が含まれていることを歓迎します
  - ① 高齢者へのコンテンツの提供（発信）方法
  - ② アイデアとして出すコンテンツを継続的に改善する方法
  - ③ 持続的にコンテンツを提供するための収益化・コスト削減などの方法
- コンテンツの作成・発信主体は、限定しません（県、市町村、民間事業者等）